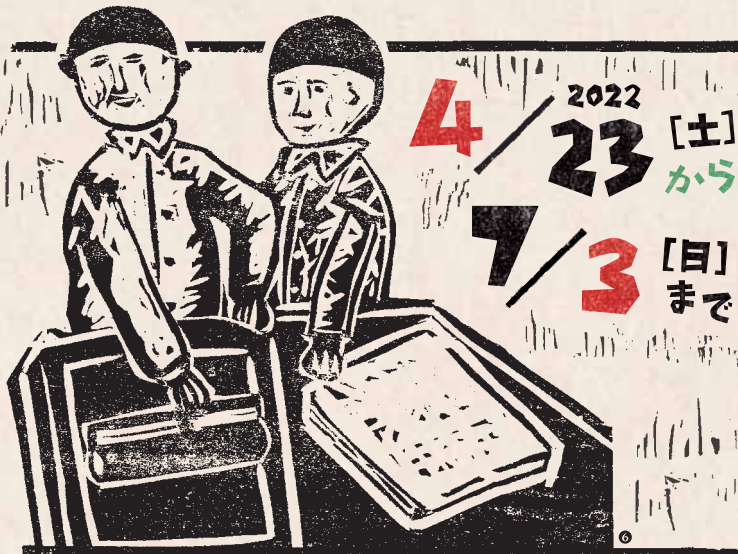


# 彫刻刀が刻む戦後日本

## 2つの民衆版画運動

Post-War Japan as Inscribed by the Printmaker's Knife  
— Two Movements in Popular Woodcut



2022 [土] から 4/23  
[日] まで 7/3

月曜日休館

平日：午前10時～午後5時

土日祝：午前10時～午後5時半(入場は閉館30分前まで)

状況により、会期等を変更する場合があります。ご来館前に当館ホームページ・SNSまでご確認ください。

一般 900(700)円、大・高生 450(350)円、中学生以下は無料

※( )内は20名以上の団体料金 ※展覧会初日(4月23日(土))は入場無料 ※シルバーデー(4月27日(水)、5月25日(水)、6月22日(水))は65歳以上の方は入場無料 ※身体障がい者手帳、愛の手帳(療育手帳)または精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は半額 ※「私も版画家だった」割引、リピーター割引、ウェブクーポン割引ほか、各種割引を実施(詳細は当館HPに掲載)

主催＝町田市立国際版画美術館

**町田市立国際版画美術館**  
Machida City Museum of Graphic Arts



工場で、田んぼで、教室で  
みんな、かつては版画家だった  
In Factories, Rice Fields, and Classrooms;  
We All Were Print Artists Once!



●石川泉羽昨郡志賀町志賀中学校2年「民話版画集 稲むかし」1963年、木版・実物版、当館蔵/●滝平二郎「裸の王様」No.12、1951年、木版、当館蔵/●青森県八戸市湊中学校養護学級生徒「虹の上をとぶ船」総集編(2)より「天馬と牛と鳥が夜空をかけていく」1976年、木版、五所川原市教育委員会蔵(写真提供：青森県立美術館)/●大田区東糀谷なかよし保育園「もりのくまさん」1980~90年代、紙版、志賀町蔵/●川崎市東大島小学校版画クラブ6年生12名「造船所」1968年、木版、川崎市立東大島小学校蔵/●新潟県柏崎市枇杷島小学校「はんかの指導—作品・実践・計画—」より1956年、木版、志賀町蔵/●鈴木賢二「署名」1960年、木版、当館蔵/●岩手県江刺市梁川中学校2年A組「南部の民話版画集『給姿女房』」1967年(再刊)、紙版、志賀町蔵 ●以外すべて部分



子どもの頃に

版画を作ったことは

ありますか？



日本の多くの学校で版画を学ぶのは、版画を普及した戦後の文化運動と深い関わりがあります。

本展では戦後日本で展開した2つの民衆版画運動を紹介し、1つは社会運動を版画で伝え、アマチュアに版画を広めた

「戦後版画運動」(1947~1950年代後半)。もう1つは戦後版画運動から派生し、全国の小中学校の教員が学校教育に版画を広めた「教育版画運動」(1951~1990年代後半)です。

これらの動きで生まれた作品には平和への願い、社会へのまなざし、工場や農家の仕事、田舎から都会まで様々な土地での生活が実感をもって刻まれています。約4000点の豊富な作品と資料を通して、これまであまり知られることのなかった版画史の一面に光を当てると、戦後の発展と開発のかたわらにある「もう一つの日本」が浮かびあがってくるでしょう。



1

主な出品作家:

飯島俊一、飯野農夫也、上野誠、海野光弘、呉炳学、大田耕士、小野忠重、景川弘道、北岡文雄、古元、鈴木賢二、小口一郎、小林喜巳子、滝平二郎、新居広治、三井寿、村上暁人、油井正次、汪刃鋒、李平凡、ケーテ・コルヴィッツ、パブロ・ピカソ

アマチュア版画サークル:

北海道・長野・東京・福岡など全国約20グループ

教育版画作品:

全国約35都道府県の小中学校での共同制作・版画文集等



2



4

1 石川県羽咋郡志賀町志賀中学校2年生5名《収穫》1968年、木版、志賀町版画協会蔵(志賀町寄託) / 2 神奈川県川崎市東大島小学校版画クラブ6年生12名《造船所》1968年、木版、神奈川県川崎市立東大島小学校蔵 / 3 神奈川県川崎市旭町小学校3年1組42名《ごんぎつね》(部分) 1963年、紙版・実物版、志賀町蔵 / 4 上野誠《広島三部作》より「男」1959年、木版、当館蔵 / 5 小林喜巳子《私たちの先生を返してー実践女子学園の斗いー》1964年、木版、個人蔵 / 6 浜浜絵の会《版画集》第二集表紙より(部分)、1955年8月、個人蔵 / 7 東京都大田区東糀谷なかよし保育園青組「もりのこびと」(部分) 1977年、紙版、志賀町蔵



5

① 版画作品募集「私も版画家だった」

小中学生、高校生に作った版画がおうちに眠っていませんか。お待ちいただいた方の作品をエントランスホールで展示します。

\*お申し込み場所・特典: 当館1階受付。入場料を200円割引します。(展示せず受付でご提示されるだけでも割引対象となります) \*募集期間: 本展会期中 \*展示方法: 制作年代・制作時の学年・都道府県・作った時の思い出をキャプションに書いていただき掲出します。名前が作品に直接書かれているものはそのまま展示します。\*対象サイズ: B4(25.7×36.4cm)以内(角1封筒に入るサイズ) \*作品返却方法: 返信用封筒(要住所記載、角1以内、切手不要)をお持ちください。会期終了後にご返送します。\*ご自身の作品に限ります。\*イベントやスペースの都合で常時展示されない場合があります。

② トークイベント「アーティストがみる教育版画」

5月21日(土)午後2時~3時半

出演: 湯浅克俊(木版画家) 聞き手: 町村悠香(担当学芸員) 湯浅克俊は伝統的な木版技法で現代を捉えるイメージを発表し、国際的に評価されている作家です。近年は日本の木版画の立ち位置を探るリサーチも行っている湯浅とともに、教育版画の魅力と独自性を掘り下げます。

会場: 講堂 | 要本展有料観覧券(半券可) | 先着60名

③ 子ども講座「みてみてつくろうー

「昭和にタイムトラベル! ガリ版にチャレンジ」

5月7日(土)午後1時半~4時

講師: 杉浦幸子(武蔵野美術大学文化学科教授)

本展では「ガリ版(謄写版)」という手作りの印刷で作られた昭和の子どもの作品が展示されています。作品を鑑賞してガリ版にチャレンジしてみませんか?

会場: 講堂 | 参加費: 1000円 | 対象: 4月に小学3~6年生になる方 | 事前申込制(抽選16名)

町田市イベントダイヤル(042-724-5656)または町田市のイベント申込システム「イベンス」で受付

受付期間: 3/24~4/18(初日のみ正午から) イベントコード: 220324H

④ 教育版画作品の絵本・紙芝居の読み聞かせ

芹ヶ谷公園内の「せりがや冒険遊び場」にて、本展で展示している絵本・紙芝居の読み聞かせを行います。

・「おはなしのじかん」 \*主に乳幼児と保護者向け 会期中の毎週水曜日 午前11時半~ \*気象庁から警報が出た場合は中止

・「みんなのステージ」 \*大人だけでも大歓迎です 5月14日(土)午後2時~2時半 \*雨天中止

会場: せりがや冒険遊び場 | 参加無料 | 申込不要 \*天候による実施状況など、詳しくはせりがや冒険遊び場ホームページをご確認ください。

⑤ 教育映画「たのしいはなが」解説付き上映会

6月4日(土)午後2時~3時15分

会場: 講堂 版画教育を広めるために制作された「たのしいはなが」(1955年、第一映画社、約20分)を担当学芸員の解説を交えて上映します。

会場: 講堂 | 要本展有料観覧券(半券可) | 先着60名

⑥ 担当学芸員によるスライドトーク

5月8日(日)、6月18日(土) 担当: 担当学芸員

各回午後2時~3時 \*2回とも内容は同じです 会場: 講堂 | 要本展有料観覧券(半券可) | 先着60名

⑦ プロムナード・コンサート

「うたごえ喫茶で聴く青春」

6月19日(日)午後1時~3時(各回30分程度)

演奏: 奥村浩樹(テノール)・鶴戸西到(ピアノ) 会場: エントランスホール | 参加無料 | 申込不要 \*新型コロナウイルス感染症対策のため入場を制限する場合があります。

\*中止、変更となる場合があります。詳しくは当館ホームページをご確認ください。



6



同時開催 | ミニ企画展「紙上の静物たち」

2022年4月13日(水)~7月10日(日) 常設展示室 入場無料



会期中の土日祝日・シルバーデーは町田駅前から無料送迎バスを運行。詳しくは当館HPをご覧ください。



混雑緩和のため、入場制限を行う場合があります。お客様の安全と安心のため、マスクの着用にご協力ください。

町田市立国際版画美術館 Machida City Museum of Graphic Arts

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1 Tel. 042-726-2771 http://hanga-museum.jp/ @machida\_hanbi

お問い合わせ: 町田市役所代表電話 042-722-3111

小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩約15分